

ように考え、推進していくのか所見を伺う。

生活環境部調整担当部長
例えば地域で活動する団体、チング等が想定される。



自由民主クラブ
穴戸 治重 議員

民産の資源を掘り起し まちづくりを生かせ



議員 市が初めて国際基督教大学と共同でまちづくりや地域の課題解決についての研究会を設置した頃、若手職員として研究に参加した市長と、これからのコミュニティなどについて語り合った。当時の経験はどう今につながっているか。

市長 昭和63年に設置した研究会で学識経験者と協働研究し、市の計画や政策に反映した。この成果は、現在、民学産公協働のシンクタンクとして機能している三鷹まちづくり総合研究所の活動に継承されている。

議員 民学産公の連携の取り組みでは、平成17年に三鷹ネットワーク大学を開校したほか多くの企業・団体と協定を締結している。これらをどう総括するか。

企画部長 複雑化する市民ニーズや地域課題に対するビジョンを共有し、それぞれ情熱をかけてくれる研究者の厚い層を創出することが職員の責務だと考える。

議員 今後のまちづくりには、より深い専門性が求められる。大学の知的・人的・物質的資源をよりもっと活用すべきではないか。

市長 専門家との議論をヒントに考えること、課題解決に有効な分野の専門家を探すことが極めて重要だ。

議員 スクール・コミュニティを成功させるためにも、大学や研究者とともに新たな挑戦をすべきだ。

教育長 教育現場の課題を明確にして、協力が 필요한内容を提案していきたい。

議員 大学や教育・研究機関との更に広いネットワークが構築できないか。

市長 三鷹のまちづくりに情熱をかけてくれる研究者の厚い層を創出することが職員の責務だと考える。



自由民主クラブ
伊藤 俊明 議員

市の将来に向けた魅力ある まちづくりを



議員 学校給食の市内産農産物の使用率向上に向けた新規格の検討状況を伺う。

教育長 6月の目合わせ会で、市内産農産物を最大限使用できるよう給食で使用可能な形状等を確認する。

議員 北野の里(仮称)整備に向けた課題と今後の取り組みについて伺う。

市長 外環工事の遅延が大きな課題だ。引き続き北野

情報コーナー等を活用した地域の人々との情報共有や意見交換を行い、協働のまちづくりに取り組む。

議員 地域の活力を維持向上させるために外環道の整備用地の一部利用を国に強く求めるべきではないか。

市長 ふたかけ上部空間等の利用を望む声寄せられているため、一時的な暫定開放も含めた地域への様々な協力を国に要請する。

議員 外環道周辺の都市計画道路の早期整備が大変重要だ。今後のまちづくりについて所見を伺う。

都市再生部長 都の都市計画道路整備に伴い、沿道の土地利用に併せた用途地域

議員 障がい者にとつて、ヘルプマークは助けを求めると支援をする人をつなぐ非常に有効なツールだ。本市においても都の包括補助を活用し配布すべきと考える。所見を伺う。



公明党
大倉あき子 議員

障がい者も安心して暮らせる 施策の充実を



議員 障がい者からの声を受け、障がい者からの声を受け、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が成立した。聴覚障がい者がファクス等で気軽に問い合わせできる仕組みが必要だ。所見を伺う。

健康福祉部長 誰もが気軽に問い合わせできるような各課のメールアドレスやファクス番号を周知する。

議員 遠隔地に常駐する手話オペレーターを介して手話通訳を提供する遠隔手話通訳の導入を検討してもらいたい。所見を伺う。

健康福祉部長 聴覚障がい者のニーズや手話通訳者の負担軽減等も含め、導入自治体の活用事例等も参考にしながら検討する。

議員 青年・成人の障がい

者が日中の活動や就労後などに集い、自由に余暇の時間を過ごし活動できる居場所が必要だ。所見を伺う。



公明党
粕谷 稔 議員

市民の健康で豊かな暮らしのための施策の推進を



議員 新型コロナウイルスの感染拡大により多くの市民が外出を控え、医療機関の受診を控えたことが懸念されている。医師会等と連携しどう対応するか。

市長 各種健康診査の受診期間を前倒しして受診票の発送を早めるなど、会場の混雑緩和と受診期間の確保に努めた。健診受診票に同封する手引きを更新し健診の重要性を説明している。

議員 コロナ禍で増加している带状疱疹の予防ワクチンが高額なため助成を望む声が多い。助成制度を導入する自治体も増えている。

第二副市長 助成する場合かなりの財政負担となるが必要性は理解する。他自治体の接種率や法定化の可能性も含め慎重に検討する。

議員 障がい者の移動や生活の利便性向上につながるデジタル障害者手帳アプリの普及を支援したい。

議員 各種証明書の交付申請等の手続きにおいて、窓口で職員が申請者から必要事項を聞き取り申請書の作成をする「書かない窓口」の設置について所見を伺う。



公明党
赤松 大一 議員

市民に便利で分かりやすい 窓口サービスを



企画部長 市民サービス向上のため、本市、立川市、日野市の3市の住民情報システムでの共同利用の取り組みの中で検討を進める。

議員 各種手続きの際、申請者が事前に必要事項をオンラインで入力し、発行されたQRコードを窓口で読み取ることで、申請書を記入せずに作成できる自治体もある。QRコードの活用について所見を伺う。

状況等を踏まえつつ、研究していきたい。

議員 生活保護の相談業務等において、人工知能(AI)の活用により、パソコン上で相談記録を文字化し記録作成時間の短縮を図ったり、テキストデータから必要な情報を抽出するテキストマイニングの手法で記録を可視化することも業務効率化に有効と考える。所見を伺う。

企画部長 相談業務等について、テキストマイニングの手法を使い分析を行う段階には至っていない。各業務の課題抽出や新たな施策検討に当たってのデータ活用に関し研究を進めたい。

議員 三鷹駅南口中央通りの朝の時間帯のタクシーの進入規制については、いまだに解除されずタクシー事業者からの不満、不信が高まっている。現在の検討状況と今後の見通しを伺う。

市長 タクシーの進入規制については三鷹警察署から警視庁へ規制変更の上申を行い、公安委員会の決定を待っている状況だ。継続して状況を見守っていく。

議員 新設されたバスの待機場所については現状、活用しきれないとの指摘がある。ロータリー内外でバスの待機場所を確保することについて所見を伺う。



民主緑風会
高谷真一朗 議員

三鷹駅南口における交通課題の解消に努めよ



議員 タクシーの進入規制については、いまだに解除されずタクシー事業者からの不満、不信が高まっている。現在の検討状況と今後の見通しを伺う。

市長 タクシーの進入規制については三鷹警察署から警視庁へ規制変更の上申を行い、公安委員会の決定を待っている状況だ。継続して状況を見守っていく。

議員 新設されたバスの待機場所については現状、活用しきれないとの指摘がある。ロータリー内外でバスの待機場所を確保することについて所見を伺う。

市長 ロータリー内でのバス待機場所の更なる活用やバスの動線を考慮したロータリー外での降車場所等の設置を検討していく。

議員 電庫庫脇の降車場所確保の取り組みについては積極的かつ迅速に取り組むべき課題と考える。今後の対応について所見を伺う。